

## JICA 教師海外研修 学習指導案・授業実践報告書

### 【実践者】

氏名	志賀 優香	学校名	宮城県 石巻市立桃生中学校
担当教科等	外国語科（道徳科）	対象学年（人数）	3 学年（50名）
実践年月日もしくは期間（時数）	令和6年11月～12月（教科10時間・全14時間）		

### 【実践概要】

1. 単元(活動)名 Unit6 Beyond Borders （東京書籍NEW HORIZON 3）	
2. 単元目標 発展途上国の現状や課題、国際協力の実例について、聞いたり読んだりして概要や要点を捉えるとともに、その内容や言語材料を活用して「自分が紹介したい発展途上国の現状や課題と今の自分に何ができるのか」をテーマに自分の考えを話して伝えることができる。 関連する学習指導要領上の目標 2 内容〔知識及び技能〕（1）英語の特徴やきまりに関する事項 エ：文、文構造及び文法事項「（イ）文構造（h）仮定法」2 内容〔思考力・判断力・表現力等〕に関する事項（3）オ：話すこと（発表）イ：社会的な話について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。	
3. 単元の評価 規準	①知識及び技能 ①仮定法(I wish../ If+主語+were..) の特徴やきまりを理解している。 ②発展途上国が抱える問題や現地の人々、ボランティアに参加する人々の写真を見て、仮定法を用いて話す技能を身に付けている。
	②思考力、判断力、表現力等 発展途上国の現状や課題、国際協力の実例について、聞いたり、読んだりして、その内容や言語材料を活用して、「自分が紹介したい発展途上国の現状や課題と今の自分に何ができるのか」をテーマに自分の考えを話して伝えている。
	③主体的に学習に取り組む態度 発展途上国の現状や課題、国際協力の実例について、聞いたり読んだりして、その内容や言語材料を活用して、「自分が紹介したい発展途上国の現状や課題と今の自分に何ができるのか」をテーマに自分の考えを話して伝えようとしている。
4. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<b>【単元設定の理由】</b> 国際社会で生きる私たちにとって、異文化を理解し、尊重することはもちろん、今後は国際社会の一員として、主体的に課題を見つけ、行動していく力が必要不可欠である。本単元を学ぶことによって、世界で起きている問題、それらの問題を解決するために「自分には何ができるか」国を越えて助け合う大切さを学ぶことができる。 <b>【単元の意義】</b> 多くの生徒が、世界で起きている問題をなんとなく知ってはいるが、自分には直接関わりのない問題であり、他人事として捉えている。「自分事」として捉えるためには、国際理解教育を扱った教科横断的な学習を繰り返し進め、様々な視点から世界に目を向ける必要があると考える。本単元で学習するアフガニスタンの生徒と日本で使ったランドセルを送る支援の事例をはじめ、道徳科で学習する武器を持つ少年、ゴミ捨て場で生活する子ども、子どもを出産した女の子、アフリカ農園で働く子どもたち、そして、ザンビアの現状など、多岐にわたる国際問題、国際支援の方法があることを学び、それぞれの学習の学びを関連させ、補充し合うことで、国際理解教育に対する理解を深めることができると考える。

### 【生徒観】

友人の表現や発言から新しい表現を学んだり、文法の誤りを指摘し合い自分で修正したりする関係づくりができており、活発に自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。本単元の学習到達目標である「話すこと（発表）」についても、モデルを参照し、練習を重ねることで、与えられたテーマの情報、自分の考えや気持ちなどを堂々と具体的に伝える生徒が多い。一方で、単語や文法の知識・技能が不十分なために、正しい文構造や適切な語彙を用いて、理解しやすい英文で伝えることに課題がある。本単元の題材である「国際問題・国際理解」については、現状を理解しているものの、自分とは直接関わりのない問題であり、自分事として捉えることができないと感じている生徒が多いように思える。また、事前に実施したアンケートでは、「アフリカ諸国（発展途上国）」について「貧しい」「犯罪が多い」「学校に行けない」といったイメージが強く、貧しい国＝かわいそうという固定概念を持っている。本単元で仮定法を学習するにあたり、既習表現を用いて自分の願いを表現する場面に応じたやりとりレディネステスト（英作文式）を実施した。結果から「I want to...」を用いた文を用いて表現できる生徒が90%以上だった。仮定法と意味は異なるものの、同じような場面・状況設定を行うことで新出文法導入に繋げることができる。2年次に学習したIfは、「If＝もし～であれば」と意味を理解している生徒がほとんどである一方で、正しい文構造「If＋S＋現在形、S＋現在形」で書けない誤答が目立った。普段の授業から全体的に学級の半数以上は、頭文字やキーワードを示すなどのヒントを与えることでスムーズに発話することができる。しかし、学級の20%はこれまでの文法事項の学習内容が十分に定着していない現状である。

### 【教材観】

本単元は、国際協力、相互協力、相互援助について考える単元である。世界には学校に通えず、読み書きすらできない子どもたちが多く存在し、これらの子どもたちを国を越えて支援する取組を知ると同時に、自分に何ができるのかについて考えることができる。言語材料としては、仮定法が初出する。本単元の学習を通して、現実とは異なる願い事を伝える表現を学習することができる。仮定法は今回の学習指導要領において、初めて中学校の指導内容となった。

### 【指導観】

本単元ではCAN-DOリスト形式の学習到達目標を「話すこと（発表）」に設定しており、以下の手立て講じて、単元末に行う「発展途上国の現状や課題、国際協力の実例について、聞いたり読んだりして概要や要点を捉えるとともに、その内容や言語材料を活用して“自分が紹介したい発展途上国の現状や課題と今の自分に何ができるのか”をテーマに自分の考えを話して伝えるパフォーマンステストへつなげていきたい。

1)生徒が自分事として国際問題を捉えることができるように、現地（ザンビア）の学生と本校の生徒との交流活動を行う。「ザンビアの人々へ伝えたい日本の魅力」を考え、その魅力を手紙等で形にし現地の人々へ伝える。また、生徒が事前に考えた質問を現地の人々へインタビューし、その答えを共有することで生徒と現地の人々と「繋がり」を持たせ、国際問題・理解への興味関心を持たせる。さらに、道徳科（C-18国際理解・国際貢献）と連携し、SDGsで掲げている「17のゴール」を学びながら、本単元の目標である「自分たちには何ができるか」について詳しく発表する活動に繋げていく。

2)新出文法の導入や練習などの表現活動では、教員がザンビアで撮影した現地の人々や問題、さらに課題解決に向けて取り組んでいるボランティアの様子を提示しながら、現地の人々やボランティアに関わる人々の気持ちを予測し、現実とは異なる人々の願い事について伝える目的・場面・状況設定を行う。繰り返し対話活動を行い、本単元で学習する表現の定着を図る。

3)上記の活動に引き続き、教科書を用いて、本文の概要や要点を読み取らせ、現実とは異なる願い事や、国際社会の問題と解決策を具体的に説明するための効果的な表現方法について気付かせたい。文脈を含めた文法使用や言語の働きを考えさせることで、基本表現の理解を深め、活用させる力を身に付けさせる。さらに、単元末の活動に繋げるように、毎授業の終わりに自分の考えを発表する表現活動を必ず取り入れる。

4)レディネステストの結果から、Ifを用いた文構造の誤答が多く目立ったことから、正しい語順を習得するために、新出文法を学習する際は単語の頭文字を示すなど、手助けとなるヒントを提示しながら口頭練習をしていく。





5. 単元計画（外国語科 10 時間・全体 14 時間）			
時	『小単元名』・ 学習のねらい	学習活動	資料など
道徳 ①	国際問題に関わる写真を見て、世界の子供たちを取り巻く現実について考え、国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育む。	①世界には学校に通えない子どもがたくさんいるが、学校に通えない理由を考える。 ②教科書の4枚の写真（子ども兵士・児童労働・難民・貧困）、ザンビアで撮影した写真について考える。 ③動画「カカオ農園で働く子どもたち」、教科書「チョコレートのあまさの裏にある真実」から感じたことをペア・クラスで共有する。 ④カカオ農園で働く子どもたちの生活を改善するための取組として、ダイヤモンドランキングを通して、行動の順位付けを行う。	・教科書「新しい道徳 3 その子の世界・私の世界（C-18 国際理解・国際貢献）」 ・動画「カカオで働く子どもたち」 ・ダイヤモンドランキング表
道徳 ②	国際問題に関わる写真を見て、世界の子供たちを取り巻く現実について考え、国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育む。	①ザンビアのゴミ問題についての写真・動画について考える。 ②ザンビアのゴミ問題を改善するための取組として、ダイヤモンドランキングを通して、行動の順位付けを行う。	・ザンビアで撮影した写真・動画 ・ダイヤモンドランキング表
1	ザンビアの様子や暮らしを捉えた写真を見て、日本との共通点や違いを知る。	①ザンビアのイメージについて、事前に想像していたキーワードをクラスで共有する。 ②実際にザンビアへ研修に行った教員からザンビアの現状について、写真や動画を見ながら、話を聞く。 ③事前にイメージしていたキーワードが合っているかどうか答え合わせをする。	・ザンビアで撮影した写真・動画 ・SDGsのテーマに沿った課題を抱える国々の写真
2	Preview・Scene1 ・願いを伝えるために、現実とは異なる願い事や架空の話について、考えや気持ちを整理して伝える。 ・ザンビアに住む人々の生活に関する英文を読み、その情報を他者に理解してもらえよう自分の言葉で説明する。	①フォトランゲージを通して、写真に写るザンビアの人々がどのような気持ちを抱いているか予想し、ペアで伝え合う。そのあと、仮定法（I wish..）を用いて、表現できることを確認する。 ②ザンビアに住む人々の生活に関する英文を読み、その情報を他者に理解してもらえようように、伝えるべき内容やキーワードを選び、発表練習を行う。	・ザンビアで撮影した写真・動画 ・SDGsのテーマに沿った課題を抱える国々の写真 ・教科書「New Horizon3Beyond Borders p91」
3 本時	ザンビアに住む人々の生活に関する情報を他者に理解してもらえよう自分の言葉で説明し人々の「幸せ」について考える。	①自分の幸せとは何かを考え、より幸せになるために自分が考える願いを、仮定法（I wish...）を用いて、ペアで伝え合う。 ②ザンビアに住む人々の生活に関する情報を他者に理解してもらえよう自分の言葉で説明する。（ジグソーリーディング）さらに、この中で誰が一番幸せそうかを予想し、その理由を考える。 ③動画「Are you happy?」を見て、感じたことをペアで共有し、「幸せ」とは何かを考える。	・ザンビアで撮影した写真 ・ザンビア人が答えたインタビュー動画「Are you happy?」
4	Preview・Scene1 願いを伝えるために、現実とは異なる願い事や架空の話について、考えや気持ちを整理して伝える。	①仮定法（I wish...）を用いて、ペアで対話練習を行う。その際、SDGsの17の目標に沿ったテーマの写真を提示し、課題を抱える人々の考えや気持ちを予想し伝える。 ②世界で行われている国際協力の取組を知るために、教科書の内容（ランドセルの寄付）を読んで、その概要や要点を捉え、その内容について	・SDGsのテーマに沿った課題を抱える国々の写真 ・教科書「New Horizon3Beyond Borders p91」

		<p>てペアで情報を伝え合う。</p> <p>③習熟度別のワークシートを用いて、本時の学習を確認する。</p> <p>④ダイヤモンドランキングを通して、自分の幸せについて考える。</p>	
5	<p>Scene2</p> <p>国を越えて助けたいという気持ちを伝えるために、現実とは異なる架空の話の概要を捉えたり、説明したりする。</p>	<p>①フォトランゲージを通して、写真に写るザンビアの人々がどのような気持ちを抱いているか、予想し、ペアで伝え合う。そのあと、仮定法 (If+主語+were..., ~) を用いて、表現できることを確認する。</p> <p>②仮定法 (If+主語+were..., ~) を用いて、ペアで対話練習を行う。その際、SDGsの17の目標に沿ったテーマの写真を提示し、課題を抱える人々の考えや気持ちを予想し、伝える。</p> <p>③仮定法 (If+主語+were..., ~) の表現が使用されている教科書の内容 (ランドセルが途上国へ送られる話) を通して、その概要や要点を捉え、その内容について情報をペアで伝え合う。</p> <p>④習熟度別のワークシートを用いて、本時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「New Horizon3Beyond Borders p92」</li> <li>ザンビアで撮影した写真</li> <li>SDGsのテーマに沿った課題を抱える国々の写真</li> </ul>
6	<p>Read ant think1</p> <p>国を越えて助け合うことの大切さを理解したり、伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりする。</p>	<p>①教科書の内容 (ランドセルの寄付) を通して、その概要や要点を捉え、ペアでその内容について情報を伝え合う。</p> <p>②フォトランゲージを通して、写真に写る発展途上国の人々がどのような気持ちを抱いているか、ペアで伝え合う。</p> <p>③世界で取り組んでいる国際協力や中学生も参加できるボランティア活動事例を見て、どの活動に参加したいのか、ペアで伝え合う。</p> <p>④習熟度別のワークシートを用いて、本時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「New Horizon3Beyond Borders p94」</li> </ul>
社会他教科連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が外国と比べ多く輸入している事実とその背景を理解する。</li> <li>世界の食料事情等が変化していることと、日本の輸入の課題についてとらえさせる。</li> </ul>	<p>①普段身近にあるもの、よく使用するもの、よく食べるもの (給食や好物も含む) を挙げて、これらの輸入相手を調べる。</p> <p>②世界で起こっている問題がどのように自分の生活に繋がっているのか予想する。</p> <p>③今後、自分自身の消費のあり方や、生活様式について考える。</p>	
7	<p>Read ant think2</p> <p>国を越えて助け合うことの大切さを理解したり、伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりする。</p>	<p>①教科書の内容 (日本の輸入事情・食料自給率) を通して、その概要や要点を捉え、ペアでその内容について情報を伝え合う。</p> <p>②日本の輸入事情や食料自給率のグラフを参考にしながら、世界の問題が身近な生活の問題へつながる事例をペアで伝え合う。</p> <p>③習熟度別のワークシートを用いて、本時の学習を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「New Horizon3 Beyond Borders p95」</li> <li>日本の輸入品目ランキング、食料自給率推移表</li> </ul>
道徳③	<p>国際問題をテーマとした詩と絵から、世界の子供たちを取り巻く現実について考え、国際社会の問題を理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育む。</p>	<p>①国際問題をテーマとした詩について考える。</p> <p>②様々な国際問題を解決するために行われている国際協力、また、国際協力のために行われている善意の寄付が発展途上国にどのような影響を与えているのか考える。</p> <p>③発展途上国の人々のニーズに応え、自立をサポートしていくための国際支援や、自分が身近にできることについて考える。</p> <p>④自分が「そのこのみらいのためになにができるか」国際協力の事例を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「新しい道徳3 そのこ (C-18 国際理解・国際貢献)」</li> <li>国際協力として行われている取組事例の写真</li> </ul>

8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンステストの内容を確認する。</li> <li>・パフォーマンステストのモデルスピーチを聞いて、スピーチの構成、表現、発表態度を確認し自分がスピーチを行う。</li> </ul>	<p>①パフォーマンステスト（スピーチ）の内容と文章構成、効果的な表現を確認し、自分の原稿を書く際の参考にする。</p> <p>②教師が作成した「国を越えて助け合うことの大切さを理解してもらうために、発展途上国の現状や課題と自分ができる行動」についてのスピーチを聞いて、内容や発表態度について確認する。</p> <p>③スピーチ原稿を読んで、その構成や使用されている語句や表現を確認する。自分が興味・関心のある発展途上国を選び、その国の現状や課題、自分ができる行動についてのスピーチ内容を考える。</p>	
9	スピーチのアウトラインとメモの作成および練習をする。	<p>①提示された手本となるクラスメイトの例文等（評価 A に相当する）を見て、さらにスピーチの原稿を整理・再構築する。</p> <p>②スピーチのアウトラインやメモを作成し、それを活用しながら、ペアでのスピーチ練習を行う。</p> <p>③ペアを変えて②と同様の活動を複数回行う。</p>	
10		パフォーマンステスト（スピーチ）	
後日		ペーパーテスト	

## 6. 本時の展開（3時間目）

本時のねらい：ザンビアに住む人々の生活に関する情報を他者に理解してもらえよう自分の言葉で説明し、人々の「幸せ」について考えることができる。

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
<b>導入</b> (15分)	<p>1 Greeting</p> <p>2 Review</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Think about what happiness means for us.</li> <li>(1) 日本で暮らす自分の「幸せ」の基準を考える。</li> <li>(2) クラス全体で「幸せ」の基準を共有する。</li> <li>(3) 自分がイメージする幸せな姿を思い浮かべ、その願いを伝え合う(I wish I...)</li> </ul>		<p>○ザンビアで撮影した写真</p> <p>※実際にザンビア人とのインタビューで分かった、人々の願いを表現する場面・状況設定とする。</p> <p>①勉強が好きな子どもたちと学校の時間割</p>
	<p>T: What is important for happiness for you?</p> <p>S: money, friend, family, eating, playing games, shopping, sleeping.</p> <p>T: My happiness keyword is “traveling” I’d like to travel all over the world. But I can’t take long vacation because I have to work. So I think “<u>I wish I could travel all over the world.</u>” How about you?</p> <p>S: I wish I could get a lot of money. I wish I could eat delicious food. I wish I could get a good score test. / I wish I could go to Tokyo.</p>		 <p>②学生の登下校の様子</p>  <p>③丸森プロジェクトリーダーの悩み</p>  
	<p>2- Think about the hope of people in Zambia.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真に写るザンビアの人々がどのような気持ちを抱いているか推測し、伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面・状況を変えながら繰り返し、対話活動をし、学習内容を定着させる。</li> </ul>	
	<p>T: Look at these picture. Imagine what their hopes are.</p> <p>S:①I wish I could study more. / I wish I could study a lot.</p> <p>②I wish I could get a bike. / I wish I could buy a bike.</p> <p>③I wish it rained. / I wish it was rainy.</p>		

展開	<p>3 Story telling 「Who looks the happiest? 」</p> <p>・自分が担当するザンビアに住む人々の話（４人）を発表し、グループで内容を共有する。</p>	<p>・支援が必要な生徒へ、人々の様子を説明するための語彙や文法表現のヒントを伝える。</p>	
(20分)	<p>&lt; Story 1 &gt; “Maria” enjoys going to school. She likes Studying very much. She is especially interested in learning math. Her classes finish before lunch. She thinks “I want to be a doctor. I wish I could study more.” After school, she helps her family at home. She lives in an old house and there is no electricity in the city. So she can’t watch TV and she spends nights in the dark with a small light</p>		
	<p>&lt; Story 2 &gt; “Mohamed” goes to the second smartest high school in Zambia. He lives in a student dormitory. They are very clean and beautiful. He always get a good scores on his tests. But actually he doesn’t like studying very much because it’s boring for him. He doesn’t know what he wants to do. He likes watching a movie on his computer. He thinks, “I wish I had more time to watch movies.”</p>		
	<p>&lt; Story 3 &gt; “Kheira” lives in a small village. She has to walk to a “Water tank” built in the city to get clean water. When her family cook something, they need to buy coal because they don’t have any gas at home. She works as a farmer. She loves her job and tries to do this to make a better society. It has been sunny for long time. So she thinks, “I wish it would be rainy tomorrow to grow vegetables.”</p>		
	<p>&lt; Story 4 &gt; “Ali” works at a rubbish dump. He looks for things made from plastic all day. Plastics can be recycled. It can be exchanged into money. He thinks, “I wish I could get a lot of money.” It is necessary for him to work there to protect his family. Family is the most important for him. He likes to spend time with them very much. He lives in a small house and it doesn’t have a clean bath room. It is like a hole. When rainy season comes, the city gets flooded and changes into a sea. Human waste flows with rainy water. It smells very bad and dirty.</p>		
まとめ	<p>・ザンビアに住む人々の話（４人）を再確認する。</p> <p>4 Think about what happiness means</p> <p>(1) 最も幸せそうな人と最も幸せそうでない人を選び、その理由について考える。</p> <p>(2) ペアで自分の考えを共有する。</p>		
(15分)			
	<p>T: Who looks the happiest of the four people? Why do you think so? S: A / B / C / D. Because ... T: I asked people in Zambia the question “Are you happy?” Let’s check the answer.</p>		
	<p>5 Watch the video 「Are you happy?」</p> <p>・ザンビアに住む人々が答えた「Are you happy?」のインタビュー動画を見る。</p> <p>6 Talking Activity</p> <p>・ザンビアの人々が「I’m happy.」と答えている理由について、ペアで伝え合い、全体で共有する。</p> <p>7 Think about what happiness means again and check what we will study next class.</p>	<p>・多様な答えを共有できるように意図的指名を行う。</p>	

	<p>ザンビアの人々が課題を抱えたままでよいのか考えた後、世界で取組まれている国際協力について知る。</p>		
	<p>T: In the movie of interview, People in Zambia answer “I’m happy.” It is very good things. However, even they feel happy, is it really good for them to spend in a poor and hard background? S: Yes./ No. (Yes / No の情報を共有する。) T: I think my answer is No. We should take some action. Actually, some volunteer group and NGO companies try to solve these problem. Do you know the campaign of school backpacks to Afghanistan? Next class, we will learn about the story.</p>		
	8 greeting		

7. 本時の振り返り

終始、本時で扱う言語材料を何度も使わせながら、国際理解教育の視点を持って「幸せ」について深く考えさせることができた。言語材料も扱いつつ、道徳的な内容を英語で進めていく授業は、初めての挑戦だったので不安感は大きかった。しかし、生徒が、自分事として「幸せ」とは何か深く考える姿が見られ、確かな手ごたえと達成感を感じた。導入時では、自分とザンビア人が考える願いの違いについて考える時間を持てた。ペアや全体で意見を共有することで、一人一人の思考レベルにとどまるのではなく、相手の発言から新しい表現を知ったり、文法の間違い等に気付き、修正したりすることができた。ザンビアに住む人々に関する4つのストーリーを扱ったジグソー活動では、自分の役割に使命感を持ち、相手に分かりやすく伝えようとする姿が見られた。家族が第一で、家庭のためにゴミ処理場で働くDさんは、「一番幸せそうに見えない」と考える生徒が多かった。しかし、生徒の予想を超え、「I'm happy. I feel happiness every day.」とインタビュー動画内で楽しそうに答えるDさんの姿に、皆が「Dさんは、なぜ幸せなのか」その理由を真剣に考え、大きく4つの答え（①家族や友人の存在が大きい ②生きているだけで幸せ ③ゴミ山からお金になるものを見つけるやりがい ④先進国や裕福な生活の情報を知らないため、他の者と比べず、今ある生活が幸せ）を出した。生徒が多様な価値観や意見をもとに幸せ度を吟味し、それぞれの思考を深め合うことができたと感じる。

8. 学習方法及び外部との連携

- ジグソー法を用いて、ザンビアに住む人々に関する4つのストーリーのリーディング活動
  - (1) 自分が担当するザンビアに住む人々の話を読む。(内容はレベルに分けて、グループで役割分担)
  - (2) 他者に伝えるために、必要だと思う単語等をメモする。
  - (3) 同じ担当同士で内容の確認、ストーリーテリングの発表練習をする。
  - (4) 4人それぞれのザンビアに住む人々の話を聞いて「Who looks the happiest?」の質問に答える。
- 自分の幸せについて考えるダイヤモンドランキング（ワークシート参照）
 

「自分の幸せにとって重要なもの」をA～Iから選び、ランキング化、その理由も考えさせた。
- フォトランゲージ
 

ザンビアに住む人々の写真から、その人々の願いについて推測し、英語で伝え合う活動を行った

9. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

- 校内研修の1つとして位置づけ、授業を公開実施した。
- 地域の小学校と高校へ、本研修の学びを生かした出前授業、交流活動を実施した。
 

【小学校】 出前授業（①ザンビアのイメージと実際 ②本当の幸せとは？）の実施

【高等学校】中学生がまとめ学習として発表した「国を越えて助け合うことの大切さを理解してもらうために、発展途上国の現状や課題と自分ができる行動」プレゼンテーションを、さらに英字新聞にま

とめた。高校生が、中学生が作成した新聞を読み、考えたことをコメントする交流を実施した。

- 本校では全学年、NIE 活動（新聞を教材として活用する活動）に取り組んでいる。国際問題・国際協力に関する記事（「通えぬ学校。女子だから…断たれる夢（アフガニスタンの女子教育禁止の事例）」を扱い、全校で国際問題について考え、自分の意見を共有する時間を持った。

### 【自己評価】

10. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"><li>・私自身が生徒へ伝えたいと思う情報量が多く、その中から何を重視して伝えるべきか内容を厳選しながら授業を組み立てていく必要があった。</li><li>・国際問題を自分事として捉えて、「自分には何ができるか」深く考えさせるためには、単発の授業では難しく、他教科と連携するなど、十分な授業時間を確保する必要があった。</li></ul>
11. 改善点	<ul style="list-style-type: none"><li>・世界で起きている問題を考えるだけでなく、「自分には何ができるか」行動に繋げるためには、繰り返し学習に取り組める体系的なカリキュラム作成が必要であると感じた。国際理解教育に関する教科の単元を明らかにし、連携することで、学習内容を深めることができる。さらに、学びを深め、国々の繋がりを強く感じさせるために、子どもたちが自分たちの考えを行動に移し、社会の一員として「誰かのために役立てた」と喜びを感じる機会を設けたい。</li></ul>
12. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"><li>●生徒が持つ貧しい国＝かわいそうという固定概念を取り払うことができた これまで発展途上国の情報を伝えると、「かわいそう」「日本に生まれてよかった」などの感想が多かったが、いきいきと生活する人々の様子、日本にはない良さなども伝えていくことで、「思っていたより明るくて驚いた」「意外と皆が楽しそうで雰囲気はザンビアのほうが上だ」などザンビアの印象を前向きに捉える生徒が多く、貧しい国に対する先入観を払拭できたと考える。さらに、「楽しそうに生活しているが、貧富の差が大きすぎる、もっと色々なものを増えたらもっと皆が幸せになるかも」など、貧困や衛生問題に目を向けて、深く考えようとする生徒もいた。</li><li>●他者の多様な考えに触れ、深く答えを探求する学習ができた ザンビア人が考える幸せ、級友が考える幸せ、自分が考える幸せ、多様な価値観や理由をもとに「本当の幸せ」を吟味する姿が見られた。幸せについてのダイヤモンドランキング活動では、「自分が好きなことをやる」をトップに置いた生徒に対し、「そもそも健康が一番でなければ好きなことができない」と答える生徒、「一番は家族や友達。ここに支えられて幸せに生きていられる」「お金があれば何でもできるから幸せは得ることができる」「汚い場所が本当に無理だから、私はとにかく環境重視」など様々な考えを皆で共有し、深く論議する場面が見られた。「I'm happy と答えるザンビア人の生活は、このままで良いのか」という問いについても、二手に意見が大きく分かれた。このように意見が異なった際、相手の意見を否定せずに傾聴する、疑問点や意見を引き出すなどの機会を繰り返し経験させることで、自分の考えに固執せず、広い視野で物事を判断できる力が身に付いていくと考える。</li><li>●リアルな学習教材が子どもたちの興味・関心を高め、学習意欲を高めた 教材で扱うストーリー内容は、全てザンビアの人々からのインタビュー回答と現地で撮影した映像をベースにつくりあげた。さらに、事前に生徒がザンビアの人々</li></ul>

へ聞いてみたい質問を教員が現地の人々へインタビューしたり、子どもたちが「ザンビアの人へ伝えたい日本の魅力」を考え、その魅力を形にして届けたり、海外研修中も「教員ー現地の人」ではなく、「生徒ー（教員）ー現地の人」のようなポジションで研修に参加したことが大きいと考える。生徒がザンビアを遠いどこかの国と捉えず、身近で自分たちと繋がりがあある国と感じさせることができた。

●様々な国際問題と国際支援についての知識を広げることができた

学習のまとめとして、「自分が紹介したい発展途上国の現状や課題と今の自分に何ができるのか」をテーマに、今までの学びをアウトプットするプレゼンテーション発表会を実施した。それぞれ、SDGs17の目標をヒントに気になる国際問題を選び、調べ、さらにその問題に対しての改善策も考え、全体で共有した。プレゼンテーション発表を経て、様々な国際問題の種類、現地の詳しい状況、また、国際支援についても漠然と募金、ボランティアではなく、具体的な活動内容などの情報を共有し、国際理解への視野を大きく広げることができたと感じる。

13. 学びの軌跡

●ザンビアの写真や動画見て感じたこと

How did you feel?  
 最初イメージしてたザンビアの人の人相は少し暗い感じかなと思って  
 いたけど、動画とかを見て、子供も大人も基本的に明るいい人たちが  
 多くて驚きました。日本よりは発展してない部分もあるけど、日本より  
 活気がありそうだし、歌も歌ったり(空しもう)にしてて驚きました。

How did you feel?  
 日本よりは環境がそこそこきれいってのは分かってはいたけど、  
 意外とみんな楽しげに歌ったり踊ったりしていて、雰囲気はザンビアの  
 方が上になって感じました。

How did you feel?  
 学校にはバス通ってないから、机とかも木のボロボロかな...と思、いたけど、  
 みんな楽しそうに学校に通って、歌やダンスをして笑顔で、"!!!"と思  
 ました！思っていたより学校とて、発展してはいて、むしろ色んなこと  
 が揃ってる、むしろみんなhappyになるから...と思、ました！

●Ali (ゴミ処理場で働く男性) が「I'm happy」と答えた理由

① He has a family and friends

Why? He has friend and family,  
 He felt happy.  
 He love working rubbish dump.

Why?  
 He has a nice friend.  
 I think It is fun for him to talk his friend.  
 I think he adapted to his hard life.

② He is living.

Why? 生活は厳しいけど、生きてるだけ良い環境、だから？  
 They life is severe, but, They think living how  
 is good.  
 and  
 have friend.

Why?  
 生きてるだけで幸せだと感じるから？  
 I think I'm happy just by being alive.

③ He just doesn't know other countries.

Why?  
 They can't know another place  
 information.  
 他と比較できない、発展はできず、  
 情報も得られない

Why? Ali had to say I'm happy,  
 because Ali doesn't know in the world  
 and Ali can't leave this country.

④ He finds fun things in his life.

Why?  
 Maybe, It is fun for him to find things made from plastic.  
 He can spend everyday with his family.  
 It is the most important for him.

Why? Because.  
 Even if there are bad environment, they find fun things.  
 normal

●自分の幸せについて考えるダイヤモンドランキング

The most important →

Not so important →

Reason: Why?  
 The most important: 家族と友達なくすのが1だったから、ずっと書いていた。友達と向き合えることとやりたかった。

Not important: すごく長く生きてつまらぬ健康の不安を減らすことが1だったから。短い人生でも好きなことやって不健康で死んでいいほうだ。

The most important →

Not so important →

Reason: Why?  
 The most important: 健康じゃないと何もできないから。

Not important: 今自分が夢を持っていないでも幸せに過ごせるから。

●ザンビアの人々は「I'm happy.」と答えていたが、このままでよいか？

<よいと思う>

なぜなら現場に行っても、自分には何もできないから今の幸せを超えることができないので幸せならそれでいいと思うから

その人が幸せだったらそれ以上は求めないと思う。日本人の幸せと他の国の人の幸せは価値が違う。自分たちの幸せを押し付けられない。

変えたら幸せも助け合っている環境も無くなるかもしれない

今以上の幸せを知ってしまったら貪欲になってしまわないか。そしてまた新たな幸せを求めために犯罪などのよくないことをしてしまうかもしれない。あと価値観の違いとかあるから自分達が幸せと思っていることを押し付けるのは良くない。

その人が幸せに感じているならそれ以上に幸せなことはないと思うし、私たちが客観的に見て幸せかどうかを決めて押し付けるのは良くないと思う。

彼らが幸せなら私はそのままがいいと思う。何かを変えることで貧困の差が生まれたり世界に悪い影響を与えるかもしれない。

<よいと思わない>

幸せだと感じているのはすごく良い事だけど、深刻な食料不足があったり、水や電気が通っていない家も多いです。死亡率も高く、これらの課題は、幸せを感じているからとはいえ、放置してはならない事だと思います。

今「幸せ」と思っているもこれ以上に環境が悪くなってしまったら「幸せじゃない」って気持ちが変わるのは辛いから、トイレとか水道から直していけばいいと思う。

住んでいる環境が悪かったりしたら健康じゃなくなって幸せにはなれない。少しでも募金をしたりしてザンビアの人たちがもっと幸せになって欲しい。

全てを変えるのは難しいと思うしザンビアだけを変えてしまったら他の貧しい地域の人も...っていうのはすごい時間がかかるから大変なのはわかるけど、これ以上の幸せがあるかもしれない...から変えていきたい

その人は幸せと、言ってもそれが気を遣って言っているだけで本当は全然そんな事思っていないかも知れないし、みんな平等の世の中を作る為に少しでも支援をする事は大切になってくると思う

幸せを否定するわけじゃないけどこのままじゃ良くないと思う。いくら幸せだと言っているとはいえ学校に行けないとか子供が働くとかは人権が守られていないと思うし、より幸せになれるならなったほうがいいと思ったから。それに生まれた子供がたくさん死ぬのは残念だけど、100円募金するだけで一人の命が救えるかもしれないなら少しでもより幸せな人を増やしたい

●「幸せ」とは何なのか？これまでの授業を振り返って。

環境が良いとか悪いとか関係なく、生活が不便でも不便なりに工夫して生きていけるし、大事なものは「自分は幸せ」「不幸ではない」と思える気持ちなのかなと思いました。偏見だけど、日本人は慎重すぎて、物事を大きく捉えすぎてしまう人が多そう。だからザンビアの人より幸せそうなのが増えないのかなと、思いました。

国によって人柄が違うんだなって改めて感じました。"当たり前"も国によって違うのかなって思った。日本に生まれて、環境はすごく恵まれるから自分も自分のいいところをいっぱい見つけて、この上ないくらい「この人生で良かった」って思える自分だけの人生にしたいなって思う！！

便利なもの、大事な人、清潔な環境、それらを手に入れるためのお金=幸せだと考えていたけど、生まれた場所や周囲の人の影響があってそれぞれ幸せや幸せと感じることの価値観が違ってくるものだと感じた。

ザンビアの人は日本人より自分に自信を持っている人が多いんだと思った。日本人は人と話すときにマイナスな言葉を遣うことが多いけれど、ザンビアの人たちはプラスな言葉を遣うことが多いのでとてもすごいなと思ったし、日本人は見習う必要があると感じた。私たちの思う幸せと他の国の人が思う幸せは違うので面白いなと思ったし、幸せが何かわからなくなった。日本などの先進国で豊かで暮らしをしている人がアフリカなどに沢山いるので感謝をしなきゃなと思った。日本にも来て欲しいです。

日本人は自分を下げて相手を上げる文化だから自分がダメと思いがち。礼儀という文化が自分と周りの壁を作っている。日本人はよりよくしようとするが故の劣等感を感じている。だけどザンビアの人は自分と相手をあげて仲良くする文化がある今に満足していて今あるものを大切にしている。私は自分と周りの人が笑っている時、満足した時に幸せ。だから幸せの難易度が違う自分を客観的に見過ぎず主観的に見過ぎずが大切だと思った。マイナスよりプラスに意識を向ける。ザンビアの人は自分より恵まれる人に意識を向けてないように感じた。

最初にはザンビアの人たちは貧しかったりあまり良い環境ではないから幸せではないんじゃないかな〜というイメージがありました。けどほとんどの人が「幸せ」と答えていることにびっくりしました。自分自身を好きだった。家族や友達がいたら、貧しかったり、住んでいる環境があまり良くなくても幸せと思えるんだなと思いました。

今まではいい環境に暮らしている人が幸せだと思ってたけれど、今回の授業でザンビアの人たちの話を聞き、日本とザンビアでは物事の捉え方が違い、日本で幸せだと思っていることもザンビアでは違ったり、ザンビアで幸せだと思っていることは日本では違っていることが分かった。そしてこのことを通して幸せとは後のことにとらわれず、今を楽しむことが大事だと感じた。

人それぞれ幸せだと思うことが違うことが分かった。自分から見て幸せじゃなくてもその人が幸せらしいと思った。ザンビアの人が日本に来たら幸せだと感じるのを知りたい。

同じ世界に生きている人でも、自分自身に対する考え方や思考が全く違うという事実が驚かされた。実際幸せって曖昧で定義がないし、形として存在しないからこそ難しいものになっていると思った。

ザンビアの人と日本人の考えとか思っていることが反対でびっくりしたけど、どちらの考えも良いと思っし、自分らしく生きられることが自分自身にとっての幸福なんじゃないかなって感じた。

自分自身が楽しいと思えていれば幸せだともいます。多くのものを与えられても客観的には幸せに見えるけれど本人が楽しくなきゃ幸せとはいえない。自分の興味を惹かれるようなことに自分から参加できるような環境であれば勉強も楽しいと思えると思う。

ザンビアの人は何も揃ってない状況で生きているから生きたいかと思うのかも。日本人は全てが揃ってなくても簡単に手に入れる事ができるという土台がある中で生きているけど、ザンビアの人は簡単に物が入るわけでもなく、手に入れるのに一苦労するとか一生手に入らない物とか多くあるという土台がない中で生きているからやれないよりはやりたいういう気持ちがあるのでは。日本人の過労死とか、勉強がしたくない理由は義務付けられてたり、やらなきゃいけないというのがあると思った。

その人が経験してきたこと、生活、文化、周りの環境、状況、人それぞれの好みや考え、幸せの基準によって"何が幸せ"が変わって来ると思う。

●プレゼンテーション内容 (SDGs 英字新聞作成へ)、プレゼン発表会感想

### SDGs NEWS

**I WISH I COULD EAT MORE**



**TO SAVE THIS PROBLEM**

To help this problem, I think teaching technology is a great idea. For example, we go to Africa and teach how to make rice, potato, and corn. If hunger people know how to make it, they can get food easily.



Have you ever heard of "hunger"? Hunger is "Kiga" in Japanese. Many children can't eat enough food. So they will someday. Hunger people are increasing in the world. So we must help them. Hunger people often eat wildflowers because they don't have something to eat.



### SDGs NEWS

**I WISH I COULD SWIM IN THE BEAUTIFUL SEA**



**TO SAVE THIS PROBLEM**

What should we do to protect our marine? In my opinion, At first, We collect marine garbage as a volunteer. After that it can be sent to playground factory to make children's playground. In that case, marine garbage will disappear and it makes children happy.



Marin life is decreasing because of dirty water and garbage. I think that it is very serious problem. So we have to understand it. I'll show you an example. Plastic is used by many people these days. It is flowing to sea. Ocean pollution is running in all over the world. Deadzone is as large as U.K. There are not CO2 so many of fish can't survive in it. And also catching of fish is one of the ocean pollution. We need more to catch sea food. However, if we catch a lot of seafood many of fish will be extinction.

沢山の問題があるのは知っていたけれど、調べたりみんなのスピーチを聞いて、様々な種類の問題があることがわかりました。全ての問題が解決するのにはすごく大変なことだと思いました。

14. 授業者による自由記述

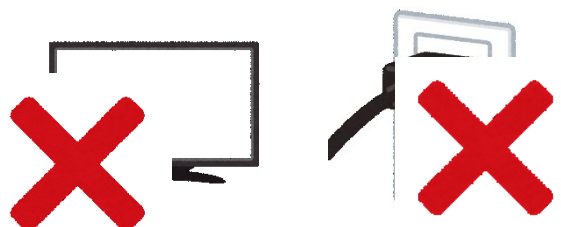
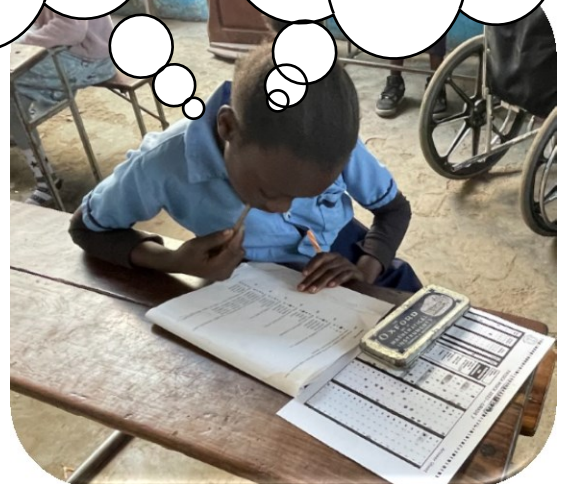
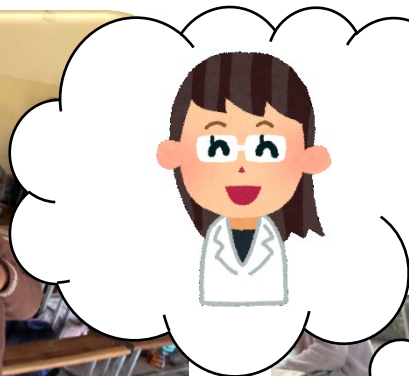
これまで、国際理解教育とは何かと聞かれれば、自信を持って答えられない自分がいた。これまで発展途上国を旅し、そこで感じた異文化の違いなどを伝えるだけの自分に「これは本当の国際理解教育ではない」と違和感があった。しかし、今回の授業づくりを通して、たくさんの感動と驚きがあった。これまで学んだ開発教育の手法等はもちろん、自分とつながりを見出し、感情を揺さぶるような工夫、生徒の思考が働くような問いを試行錯誤しながら、授業をつくっていくことで、子どもたちが本気で国際問題や自分の幸せについて考えていた。多様な考えが飛び交い、皆で「確かにこういう考え方もあるね」「なるほど」と、生徒の考えがさらに、広がり深まっていく姿を目にし、胸が熱くなった。今回、私の研修目標である「多くの子どもたちに多様な価値観を尊重し、広い視野から物事を考えるきっかけを与えたい」に一歩近づくことができた。

参考資料：

- ・東京書籍 NEW HORIZON 3
- ・東京書籍 新訂 新しい道徳 3
- ・文部科学省 (2017) 『中学校学習指導 000 要領 (平成 29 年告示) 解説 外国語編』 文部科学省
- ・日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/>
- ・農林水産省 [https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu\\_ritu/012.html](https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html)
- ・江口 絵理 「アフリカで、バッグの会社ははじめました」 さ・え・ら書房 2023 年 6 月
- ・原 貫太 「あなたと SDGs をつなぐ「世界を正しく見る」習慣」 KADOKAWA 2021 年 12 月
- ・ウスビ・サコ 「アフリカ出身 サコ学長、日本を語る」 朝日新聞出版 2020 年 7 月

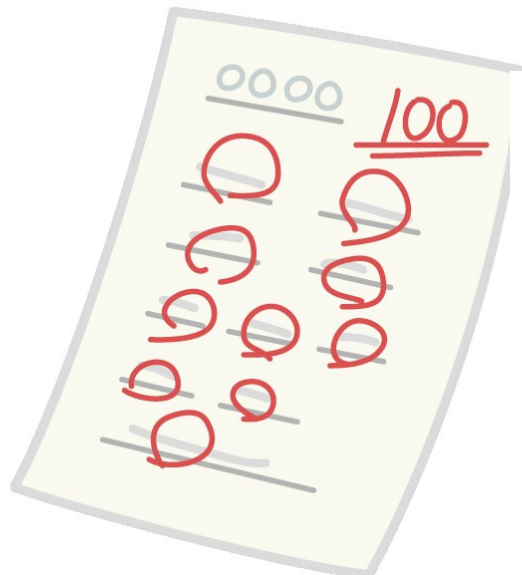
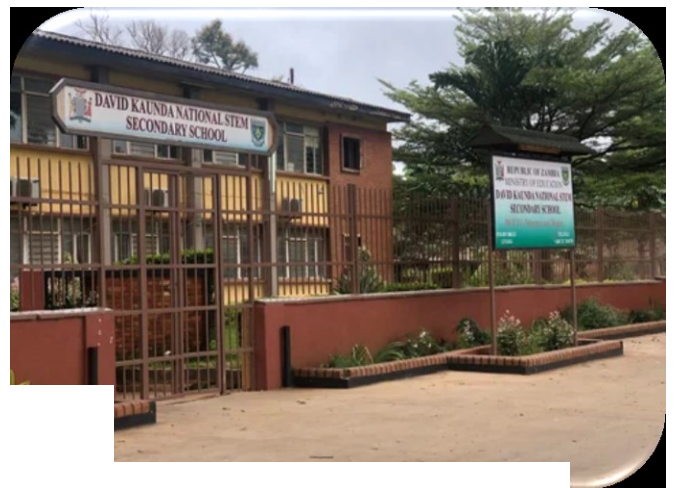
Level 1 ☆☆☆★

“Maria” enjoys going to school. She likes studying very much. Especially, she is interested in learning math. Her classes finish before lunch. She thinks “I want to be a doctor. I wish I could study more.” After school, she helps her family at home. She lives in an old house and there is no electricity in the city. So she can't watch TV and she spends a dark night with a small light.



Level 2 ☆☆☆

“Mohamed” goes to the second smartest high school in Zambia. He lives in a student dormitory. Both of them are very clean and beautiful. He always get a good score on the test. But actually he doesn’t like studying very much because it’s boring for him. He doesn’t know what he wants to do. He likes watching a movie on his computer. He thinks “I wish I had more time to watch it.” ※student dormitory:学生



Level 3 ☆★★★★

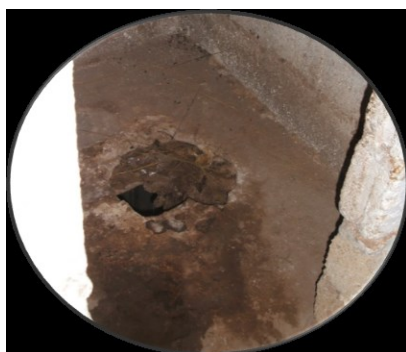
“Kheira” lives in a small village. She has to walk to “Water tank” built in the city to get clean water. When her family cook something, they need to buy coal because they don’t have any gas at home. She works as a farmer. She loves her job and try to do to make a better society. It has been sunny for long time. So she thinks “I wish it would be rainy tomorrow to grow vegetables.” ※farmer 農家 ※grow 育てる



Level 4 ★★★★★

“Ali” works at rubbish dump. He looks for things made from plastic all day. Plastics can be recycled. So they will be changed to money. He thinks “I wish I could get a lot of money.” It is necessary for him to work here to protect his family. Family is the most important for him. He likes to spend with them very much. He lives in small house and it doesn't have a clean bath room. It is like a hole. When rainy season comes, the city changes like a sea. Body waste flow with rainy water. It smells very bad and dirty. ※rubbish dump ゴミ処理場

※flow 流れる ※body waste 排泄物



# ★About you !!

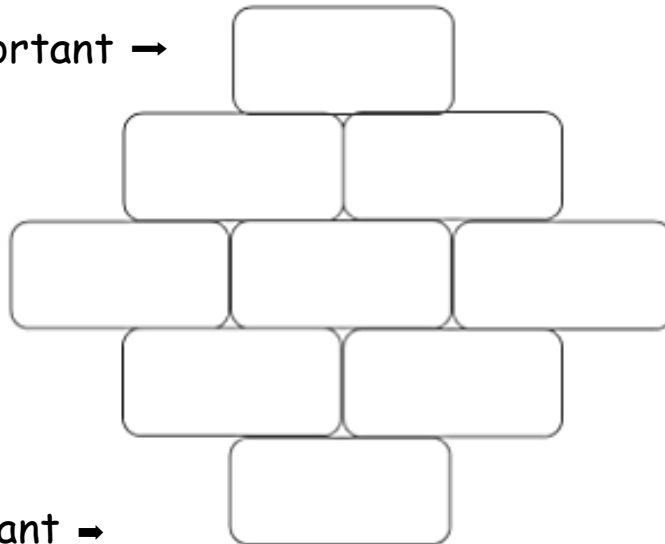
## What is important for your happiness?

The most important thing is the top.

Make your ranking about your happiness. These are Keywords.

A: money    B: health    C: studying/ working    D: convenience  
E: friend and family    F: cleanness    G: clothes • shoes  
H: having a dream    I: do what we like

The most important →



Reason: Why?

The most important :

Not important :

What did you feel this class?